

### Ⅲ：研究成果の刊行に関する一覧表

## 研究成果の刊行に関する一覧表

### 書籍

著者氏名	論文タイトル名	書籍全体の編集者名	書籍名	出版社名	出版地	出版年	ページ
<u>嶋根卓也</u>	テンションを上げたい、嫌なことを忘れた	松本俊彦	大学生のためのメンタルヘルスガイド	大月書店	東京	2016	pp129-143
<u>嶋根卓也</u>	市販薬にも安心できないものがある	松本俊彦	やさしいみんなのアディクション	金剛出版	東京	2016	Pp66-68
<u>嶋根卓也</u>	大学生のためのわかりやすい薬物乱用の話	加藤哲太、北垣邦彦、嶋根卓也、ほか	危険ドラッグ問題の表と裏	薬事日報社	東京	2016	Pp11-43
<u>松本俊彦</u>	薬物依存臨床の焦点(単著)	松本俊彦	薬物依存臨床の焦点(単著)	金剛出版	東京	2016	
<u>近藤あゆみ</u>	アディクション臨床ではなぜ家族支援が大切なのか、境界線を引くこと、イネイブリングをやめること、家族は本人を24時間監視すべきなのか?	松本俊彦	臨床心理学増刊第8号 やさしいみんなのアディクション	株式会社金剛出版	東京	2016	p140-141p143-144p144-146
<u>近藤あゆみ</u>	薬物依存症者をもつ家族に対する支援	福田正人	精神科臨床サービス 第17巻1号 みんなが元気になれる家族支援I	星和書店	東京	2017	p70-74
<u>近藤あゆみ</u>	依存症という「病」	池田理知子 五十嵐紀子	よくわかるヘルスコミュニケーション	株式会社ミネルヴァ書房	京都	2016	P26-27
<u>近藤あゆみ</u>	物質関連障および嗜癖性障害群 薬物関連障害	下山晴彦 中嶋義文	公認心理師必携 精神医療・臨床心理の知識と技法	株式会社医学書院	東京	2016	p101-102

雑誌

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
<u>嶋根卓也</u>	「ゲートキーパー」としての薬剤師の役割	医薬ジャーナル	52(2)	101-104	2016
<u>嶋根卓也</u>	学校における薬物乱用防止教育	精神科治療学	31(5)	573-579	2016
<u>嶋根卓也</u>	ユーザーに最も身近な相談窓口として～多剤併用を防ぐ薬剤師の取り組み～	月刊薬事	58(8)	68-70	2016
<u>嶋根卓也</u>	LGBT における HIV 感染症と薬物依存	精神科治療学	31(8)	1045-1052	2016
<u>嶋根卓也</u>	飲酒・喫煙・薬物乱用	小児科診療	79(11)	1657-1663	2016
大曲めぐみ, <u>嶋根卓也</u> , <u>松本俊彦</u>	日本の刑事施設における薬物依存離脱指導の評価方法についての文献レビュー	日本アルコール・薬物医学会雑誌	51(5)	335-347	2016
佐々木真人, <u>嶋根卓也</u> , 村岡謙行, 長崎大武, 田村昌士, 西村直祐, 堀岡広稔	薬局薬剤師に必要とされる自殺予防ゲートキーパーの養成とその効果	高知県薬剤師会報	146	11-20	2016
<u>松本俊彦</u> , 船田正彦, <u>嶋根卓也</u> , <u>近藤あゆみ</u>	薬物関連問題とどう対峙するか疫学研究、毒性評価、臨床実践、政策提言	精神保健研究	60	53-61	2017
Okumura Y, Shimizu S, <u>Matsumoto T</u>	Prevalence, prescribed quantities, and trajectory of multipleprescriber episodes for benzodiazepines: A 2-year cohort study.	Drug and Alcohol Dependence	158	118-125	2016
<u>Matsumoto T</u> , Tachimori H, Takano A, Tanibuchi Y, Funada D, <u>Wada K</u>	Recent changes in the clinical features of patients with new psychoactive-substances-related disorders in Japan: Comparison of the Nationwide Mental Hospital Surveys on Drug-related Psychiatric Disorders undertaken in 2012 and 2014.	Psychiatry and Clinical Neurosciences,	70	560-566	2016
<u>松本俊彦</u>	健康問題としての薬物依存症—薬物依存症からの回復のために医療者は何ができるか.	日本医事新報	4808	19-23	2016

松本俊彦	物質使用障害における自殺—薬物療法のリスクとベネフィット.	臨床精神薬理	19(8)	1125-1136	2016
谷渕由布子, 松本俊彦	危険ドラッグ使用者への安全管理.	精神科治療学	31(11)	1449-1454	2016
近藤あゆみ, 栗坪千明, 白川雄一郎, 松本俊彦	民間依存症回復支援 DARC 利用者を対象とした認知行動療法 SMARPP の有効性評価	日本アルコール・薬物医学会雑誌	51 (6)	414-424	2016

厚生労働科学研究費補助金

(医薬品・医療機器等レギュラトリーサイエンス政策研究事業)

危険ドラッグを含む薬物乱用・依存状況の実態把握と

薬物依存症者の社会復帰に向けた支援に関する研究

(H27-医薬A-一般-001)

平成28年度 総括・分担研究報告書

発行日 平成29年3月31日

発行者 研究代表者 嶋根卓也 (国立精神・神経医療研究センター)

発行所 〒187-8553 東京都小平市小川東町4-1-1

国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所

薬物依存研究部 心理社会研究室 (shimane@ncnp.go.jp)

